

<令和6年10月定例記者会見>

1 開催日時

令和6年10月7日（月）午前10時30分～午前11時10分

2 場所

滝沢市役所 庁議室

3 来庁した報道機関

岩手ケーブルテレビジョン、岩手日報社、河北新聞社

4 発表事項

(1) キッズ健幸アンバサダー養成講座の開講について（健康づくり課）

この度、市内の小学校でキッズ健幸アンバサダー養成講座を開講しますのでお知らせします。

この事業は、有識者とオリンピック・パラリンピアンが講師となり、児童生徒に健康維持の大切さ、スポーツのすばらしさや楽しさを伝え、健康づくりの伝道師である「キッズ健幸アンバサダー」を養成するものです。キッズ健幸アンバサダーに就任した子どもたちは、学んだことを家族などの身近な人に伝え、一緒に運動を続けることで、家庭や地域に健康づくりの輪を広げていきます。

授業の一環とすることで、運動が得意な子・苦手な子にもスポーツに触れる機会を提供し、児童生徒の運動リテラシーを向上させることも目的のひとつです。

開講日と実施校ですが、10月29日（火）滝沢第二小学校6年生対象に5・6校時に実施します。

この養成講座では、運動指導の講師としてオリンピックとパラリンピアン2人をお招きします。オリンピックは、陸上競技で2016年リオオリンピックに出場した長谷川大悟さん、パラリンピアンは2016年リオオリンピック車椅子ラグビー銅メダリストの庄子健さんです。

有識者として（株）つくばウエルネスリサーチ海老原隼紀さんが講義を行います。

なお、オリンピック・パラリンピアンを招いて開講するキッズ健幸アンバサダー養成講座は、昨年に続いて2年目となります。

今年度の事業の実施には、公益財団法人ライフスポーツ財団のこども活動支援金を受けています。

(2) 「2024芸術祭たきざわ」の開催について（文化振興課）

この芸術祭では、市民の皆さんの優れた文化芸術活動成果を発表し、広く市民の皆さんに芸術鑑賞の機会を提供することで、滝沢市の芸術文化振興を図ります。

11月3日から11月18日までの期間中、演劇、舞踊・芸能、音楽・ダンス、展示の発表をビッグルーフ滝沢にて開催します。

また、市内小中学校作品展を展示部門と同時開催いたします。

たくさんの皆様のご来場をお待ちしております。

(3) 滝沢市市制施行10周年記念事業「宝くじ文化公演」～叶正子（サーカス）・国府弘子～ラグジュアリーコンサートの開催について（企画政策課）

滝沢市市制施行10周年記念事業「宝くじ文化公演」～叶(かのう)正子(まさこ)(サーカス)・国府弘子～ラグジュアリーコンサートを12月1日(日)にビッググループ滝沢において開催することとしております。

本イベントは、令和6年1月1日に市制施行10周年を迎えた本市の記念事業の一環として、市民や地域での祝賀機運の醸成、芸術鑑賞機会の提供に寄与することを目的として開催するものです。

チケットについては、ビッググループ滝沢と滝沢ふるさと交流館にて販売しております。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

(4)「滝沢ミライプロジェクト2024」の実施について(若者活躍推進室)

地域に興味を持つ学生が地域づくり活動に関わる機会を提供することで、若者が地域の方々とつながり、滝沢市へ愛着をもち、自らの視点を取り入れ活躍する場を創出することを目指すための事業である「滝沢ミライプロジェクト2024」を実施します。

この事業は今年で2回目となるもので、昨年は大学生を対象としていましたが今年には大学生に加え、高校生も対象とすることとしております。

今年の事業のテーマとして想定をしているのは、「学生の力、視点を生かした親子向けイベント」、「地域資源の活用・保全」、「若者との交流による賑わい創出」、「文化の伝承」、「特産品PR、地産地消の推進」の5つとなります。

本日まで参加者を募集しており、10月14日(月・祝)から実際に取組を進めていくこととなっています。

事業の周知及び取材についてよろしくお願いいたします。

(5)学生とつながり創り出す地域のミライ～地域循環共生圏SDGsフォーラム～の開催について(若者活躍推進室)

滝沢市では、10月26日(土)に「学生とつながり創り出す地域のミライ」と題しまして、地域循環共生圏SDGsフォーラムを開催します。

このフォーラムは、県内の大学生がSDGsについて学び、地域の将来像を考える機会を設けることにより、学生相互のつながりを醸成するとともに、地域へ愛着をもち、SDGsの視点を取り入れた活動の輪を広げていくことを目指し開催するものです。

第1部は、小学生を対象とした「ちゃぐぼんからの挑戦状! がらくたをハロウィングッズに変えよう」というSDGsイベントです。

このイベントは、昨年度「滝沢ミライプロジェクト2023」というプレゼンコンテストに参加した「子ども幸福チーム」の学生が企画、運営するもので、小学1年生と2年生は、牛乳パックを使ったランタンづくり、小学3年生から6年生は、使用済の食用油を使ったキャンドルづくりを行います。このイベントで使用する廃品は、近隣の企業よりご提供いただきます。

第2部では、学生と考えるSDGsイベントを行います。「いわてカーボンフリー・アクション」で活動する県内大学の学生による事例発表のほか、地球温暖化の現状とエコアクションについての基調講演、学生と基調講演講師によるパネルディスカッションを行います。

当日は、一般の方も自由に観覧することができますので、どうぞお越してください。

(6) 「あいフォト！～たきざわフォトログーション～」の実施について（観光物産課）

滝沢市では9月から「あいフォト！～たきざわフォトログーション～」を開催しております。

この事業は昨年度実施した「滝沢ミライプロジェクト 2023」に参加した情報発信チームの学生が企画、運営しており、学生の視点で滝沢市の魅力を発信するイベントです。

専用の用紙に記された、地図と写真を基に同じ構図の写真を撮影し得点を競うイベントとなります。なお、上位3名には市の特産品をプレゼントいたします。

選定した写真は、どれも滝沢市の魅力となる風景や場所となっておりますので、ご家族やご友人とお誘いあわせの上ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

(7) チャグチャグ馬コの「第51回 日本橋・京橋まつり大江戸活粋パレード」参加について（観光物産課）

チャグチャグ馬コが東京の目抜き通りをパレードします。

10月27日（日）に東京都中央区中央通りで実施される「第51回 日本橋・京橋まつり大江戸活粋（かっき）パレード」に参加し「チャグチャグ馬コの里滝沢市」のPR事業を実施します。

パレードにはチャグチャグ馬コ同好会滝沢支部の皆さんのご協力をいただき、市有馬「滝姫」を含む4頭の装束馬が参加します。

当日は正午ごろ東京都中央区京橋にある複合市街施設「京橋エドグラン」前を出発し、日本橋室町の「三井本館」まで中央通りを1.3km、チャグチャグと鈴の音を響かせてパレードを行います。

市ではこのような県外で行われるイベントを通して、チャグチャグ馬コのPR、馬文化の維持保存、理解醸成を図るとともに、市の観光物産の需要拡大、さらなるふるさと納税の推進による地域振興を目指してまいります。

5 市発表案件について記者からの当日質問

記者：キッズ健幸アンバサダーについて、これは子どもに「キッズ健康アンバサダー」になってもらって、家族に健康の大切さを伝えてもらおう、という企画でよろしいですか。

健康づくり課長：そうです。

記者：2年目とのこと、オリンピック、パラリンピアンを招いて開催するのが2回目とのことかと思いますが、他にも健康アンバサダーを育成する事業はありますか。

健康づくり課長：もともとは大人向けに健康アンバサダー養成事業という事業があり、令和2年度から実施しています。子ども版のこちらの事業は3年目となり、オリンピック・パラリンピアンを招くのは昨年に続き2年目になります。

記者：今のところアンバサダーに就任した子どもたちの人数はどれくらいになりますか。

健康づくり課長：令和4年度は3校で実施し114人、昨年度は2校で158人です。合計で272人となっています。今年度は1校で76人くらいの予定になっております。

記者：講座を受けた時点で健康アンバサダーになれるという形ですね。

健康づくり課長：そうです。

記者：当日は講話を聴いてから実際に体を動かしてみて、といった流れになるのですか。

健康づくり課長：そうです。まず有識者の方が健康の大切さについて講義して、オリンピック・パラリンピアンは実技になります。どうやったらうまく体を使えるかなどを学びます。パラリンピアンの子さんは、車椅子でいらっしゃるの、例えば障がいをもって運動するというの、など学ぶ機会になります。

記者：芸術祭についてですが、演劇は券を買って、ということよろしいですか。

文化振興課長：そうです。

記者：劇団ゆう子ども組と成年隊は市内にある劇団ということよろしいですか。

文化振興課長：そうです。市内の劇団です。今回は子ども組と成年隊で2公演していただくことになります。

記者：毎年の流れ（日程）は基本的に同じですか。

文化振興課長：そうです。毎年同じ日程で実施しています。

記者：小中学生の作品展示は、夏休みの作品を展示する形になるのですか。

文化振興課長：展示する作品は、学校にお任せして選んでいただいております。

記者：基本的に全学校が参加数するものですか。

文化振興課長：そうです。当日はきらら・いわてアート・コレクション公募展で「きらら大賞」を受賞した大川拓永（おおかわたくえい）さんの作品も特別展示となります。

記者：その展示も16日～18日の期間の展示ですか。

文化振興課長：そうです。展示部門の期間に合わせて展示する予定です。

記者：ラグジュアリーコンサートについてですが、前売りチケットは現在販売中ということですね。

企画政策課長：そうです。現在販売中です。

記者：宝くじ文化公演ということで、お得な価格で鑑賞できるということですね。

企画政策課長：そうです。通常のコンサートのチケット代に比べてかなり安い価格で設定させていただいています。

記者：現状公演の日までずっとチケットは売っているということですか。

企画政策課長：そうです。当日券の販売もあるので、ぜひお買い求めいただければと思います。

記者：ミライプロジェクトについて、本日（10月7日）まで参加者募集とありますが、現在申し込みは何人ほどですか。

若者活躍推進室長：19人です。

記者：2023の取り組みの中で企画されたものを、今回学生さんたちが実際に取り組むという形かと思いますが、今回の2024で企画されたものもまた来年度取り組まれるということよろしいですか。

若者活躍推進室長：はい。継続してやっていきたいと思っています。

記者：高校生も対象とのことですが、現在高校生からの申し込みはどれくらいですか。

若者活躍推進室長：盛岡北高生が13人います。

記者：どういった経緯や思いで企画をするに至ったか、学生さんにお聞きしてもよろしいでしょうか。

学生：昨年の滝沢ミライプロジェクト2023に参加した際に、自治会の方や地域の皆さんからお話を聞く機会があり、その話の中で、コロナ禍により地域と子どもとのつながりが薄れているという課題を聞いて、その解決のために、子どもたちと一緒に何かできることはないか考えて企画に至りました。

記者：ぜひ来てほしいというコメントをいただいてもいいですか。

学生：子どもたちに楽しんでもらえるように精いっぱい考えたので、当日もぜひ参加して楽しんでもらえたらと思います。

記者：フォトロゲーションについても、考案の経緯などを教えてください。

学生：滝沢ミライプロジェクトの中で、地域の方から地域の課題を聞くという場面があり、その際に地域内でのイベントについての周知が難しいと聞いて、そこから情報発信に注目して、チームで企画を作りました。チームの中では、イベントを知ってもらうためには、まず滝沢市をよく知ってもらうことが必要だと考え、市の各地を巡ってもらうようなイベントを企画したいと考え昨年企画したフォトロゲーション企画を「あいフォト」という名前で実施することにしました。

記者：なぜ「あいフォト」という名前にしたのですか。

学生：様々なネーミング案が出た中で、チームの中では「滝沢愛を醸成すること」をテーマとしていたので、「愛」と、写真を撮るときには目を使うので「eye」をかけて、ネーミングしました。

記者：応募は後日市のHPやインスタグラムからとありますが、既に始まっていますか。

観光物産課長：まだです。

記者：いつ頃から始まる予定ですか。

観光物産課長：まもなく準備が整う予定です。

記者：では現状では応募期間の始まる12月までは撮り溜める期間ということですね。

学生：そうです。直近では11月の2日と3日に県立大学、12月の12日、13日には盛岡大学でイベントとしてこのあいフォトを実施します。

若者活躍推進室長：それぞれの大学の大学祭に合わせて開催するものです。

記者：例えばこのスポットに行くための地図が欲しいとなったときはどうすればよいですか。

観光物産課長：観光マップや市のHPなどにも情報を載せていきたいと思っています。

記者：チャグチャグ馬コの東京でのパレードについてですが、これは初参加でよろしいですか。

観光物産課長：初めて参加します。

記者：他県のお祭りに参加すること自体についても初めてですか。

観光物産課長：過去にはありましたが、ここしばらくはありませんでした。村時代、2013年に相模原市で開催されたイベントに行ったのが最後です。

記者：コロナ禍も明けて、市になってからは初めてということですね。

観光物産課長：そうです。

記者：馬は4頭参加とのことですが、馬はどういった方法で運ぶのですか。

観光物産課長：県の競馬輸送組合の馬運車によって、前日のうちに出発します。

記者：参加するのはイベント側から依頼があったものですか。市から売り込んだものですか。

観光物産課長：こちらからの売り込みです。

6 その他記者からの当日質問

記者：選挙について、参院選、衆院選同日選挙ということになりましたが、市長はどなたか候補を応援するなどの予定はありますか。

市長：候補の応援よりも、まずは同日選挙をいかにしてこなすかということが大変なところですね。同日選挙なのでポスターを張る板の用意や投票用紙の印刷などがきちんと終わるか不安でいっぱいなのと、選挙当日私は東京で、滝沢ふるさと会や先ほどのチャグチャグ馬コのパレードの方に行っておりますので、残る職員で必死に開票作業をしようと思うのですが、そういった部分の不安のほうが今は大きいです。まずは住民の皆さんがしっかりと投票をしてくれるように、投票率向上に努めていきたいと考えております。

記者：市長は選挙当日には東京にいらっしゃるのですか。

副市長：滝沢ふるさと会が選挙の決定以前から予定していた日であり、スケジュール的にその前段でチャグチャグ馬コのパレードにも参加して、その後ふるさと会に出席します。市長はそれが終わり次第戻ってまいります。

記者：現状候補者でマイクを持ったり、誰かを支援・支持するお考えはありますか。

市長：今のところそういった相談はないので、何か要請がありましたら、その場その場で判断していきたいと考えております。

記者：先日、市民団体からふるさと納税の返礼品であるお米について質問状を受け取られたと思いますが、今のところどういったご対応になっていましたか。

市長：本日（10月7日）回答期限となっておりますので、回答して対応したということになります。

記者：改めて任意の団体ではありますが市民団体から声が出たということに関して、市長のお考えを聞かせてください。

市長：はじめに新聞報道にあった内容というのは、若干ふるさと納税制度を理解せずに書かれていた記事であったことから、市民の不安が増幅したという部分もあるかと思っております。まずは不安の払しょくに努めながら、総務省からも問題ないというコメントはいただいておりますので、こちらもしっかりと説明をしてまいりたいと思っております。

記者：方針としては前回の会見と同様に、そのまま続けていくということで変わりないということでしょうか。

市長：はい。